

# 道 草 を た べ る

池 本 泰 兒

## 道草をたべる

昭和八年になつた。目下吾が國は、對外的にも、對内的にも非常時である。吾等は献身的の御奉公をしなければならぬ時である。

私の書く漫文は少しも夫れ等非常時の決心とは關係はないのだが、永く書き續けて居ると矢張り書かないで居ることとは淋しい。讀まれる方には御迷惑かも知れないが『道路に關することを』に引き續いて書かして頂く。『道路に關することを』だと何時も道路の他のことは一切書かれない様な氣がするので、こんどは多少の道草でもいゝ様にとこな題をつけて見た。然し一〇〇パーセント道路に關しないことは本誌の性質上書かないつもりだ。

又次第に私も幾らか考へる様になつたのか、自分の見た

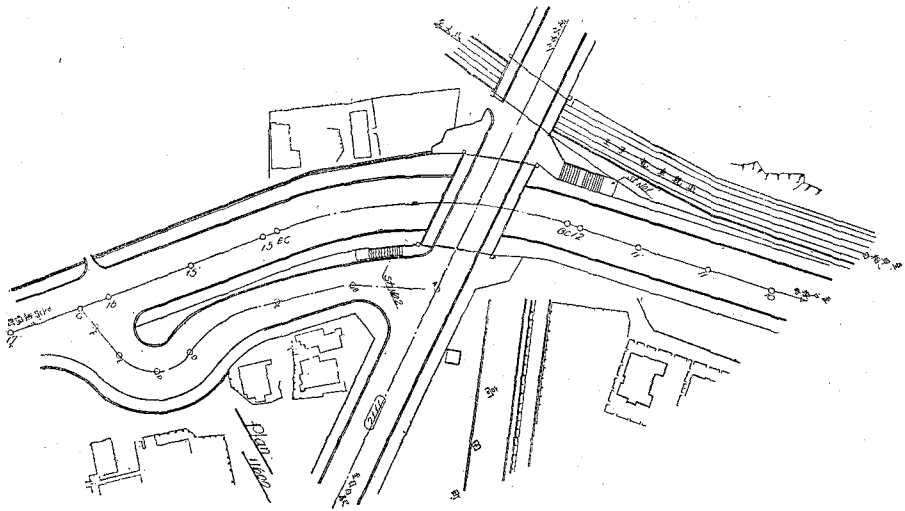
工事に就ての批判も書けなくなつて來た。だから紹介する様な文章が多くなつて來た。之れはいゝことか悪いことか判らないが、夫れでも一時の様に私の友人から、あんなことは書くな君は損をするぜといふ様な忠告を頂かなくなつた。其の一方時には『批判もいゝぜ君。此の頃氣の抜けた駄文ばかりだ』ともいつて頂く。然し私には私だけの事しか出來ないのだから若し讀んで下さるにしても、夫れだけのこととしてお許を願ひたい。

## 道路の高低交叉

高速度車輛の通る道路の交叉は、理論的には高低交叉にしなければならぬといはれてゐる。だから自動車専用道路などに於ては原則的に他の道路と交叉する場合は高低交叉にする様に規定されてゐる。交通が危険であるばかりで

なく、其の部分で交通が混乱し、其の整理のために折角の高速度の交通用具も其の機能を發揮し得ないからである。

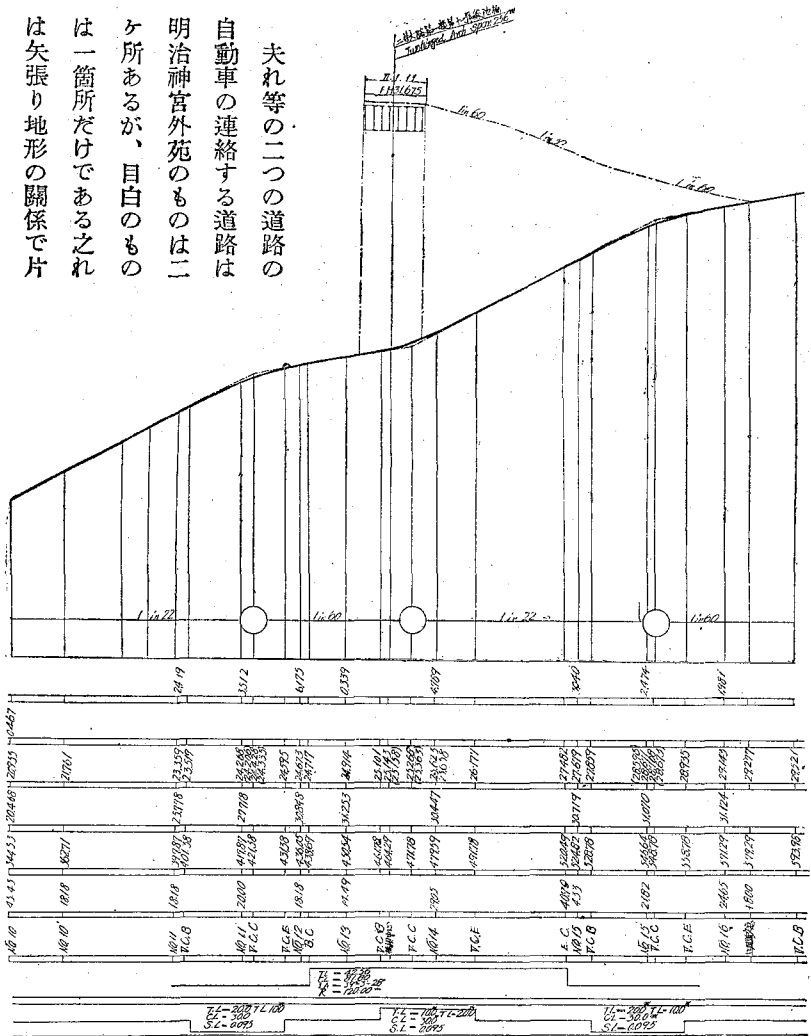
其の交叉する道路がお互に全く關係のないものなら鐵道と道路との高低交叉の様に連絡なしのものでもいゝが、道路と道路とだとうしても一方の道路から他の道路に入るといふことが必要になつて来るから、交叉せしめる他に、其の連絡道路を造らなければならぬ。其の連絡道路を造るに就ても交通の危険がなく、又交通を少しも混乱せしめない様な設計にしなければならぬ。其の標準的の設計としては、牧野雅樂之丞氏著述



目白高低交叉箇所之平面圖

の『道路工學』の自動車専用道路の編に一四種類の交叉方法が擧げられてゐる。夫れには平面交叉の場合と高低交叉の場合とあつて、色々の交叉のものを擧げられてゐる處で現在東京市に於て此の道路と道路との高低交叉を爲して居る處が二ヶ所ある。一つは明治神宮外苑に於て省線千駄ヶ谷驛前のものと、目下築造中の目白學習院横の環狀線と放射線との交叉點とである。兩者共に之れを高低交叉にした理由は地形の關係に依つたので夫れさへなければ好んで高低交叉にする必要もなかつたのである。然し道路の高低交叉であるといふ處が面白いと思ふ。

夫れ等の二つの道路の自動車との連絡する道路は明治神宮外苑のものは二ヶ所あるが、目白のものは一箇所だけである之れは矢張り地形の關係で片

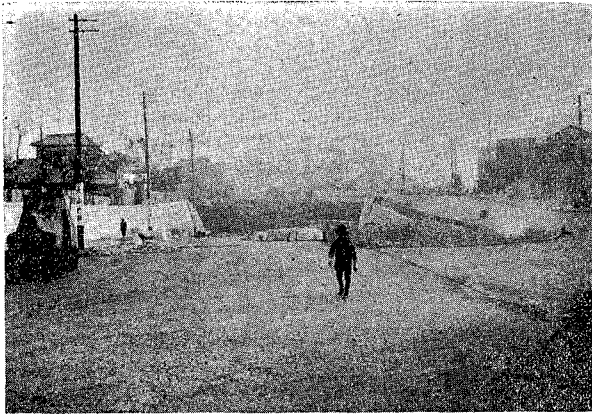


目白高低又交筋の縦斷面

側は勾配がとりつかないのと、目下の處は連絡道路は一つでも間に合ふといふ考へ方からである。然し之れも今に相當交通を混亂せしめる様にはなるだらう此の工事は本年三月竣功の豫定で、目下工事を急いで居る。黒澤勝君が監督してゐる。美事な出來派へである此の部分の路面鋪装は勾配が急なので全部花崗石の小鋪石鋪装である。隨分廣い面積に亘つてゐる此處で目に

ついた事は其の舗装の處々に道路を横斷して直線に通つた目地があることだ。黒澤君は『隨分方々の小鋪石の舗装を見て歩いたんですが、何處でも夫れに縦

横に龜裂が入つてゐます。夫れで私は基礎混凝土にも目地をつけました。そして其の目地に合せて表層にも目地を入れたんです。目地へは、マスチツクを填めました。少し其の目地の間隔が大きかつたから或はどうかとも思ひますが、夫れでも龜裂には効果はあるだらうと思つてゐます』といつて居られた。實は私も、小鋪石舗装の龜裂及び直線目地の關係に就てはしつかりした智識がないので黙まつてゐるより仕方がなかつたのであるが、小鋪石には多少の龜裂が入つてもいゝのでないかと思つてゐた。然し基礎混凝土に目地を入れたとすれば、表層に入れる可きかも



路道絡連がのるえ見に側右、所箇又交低高白目

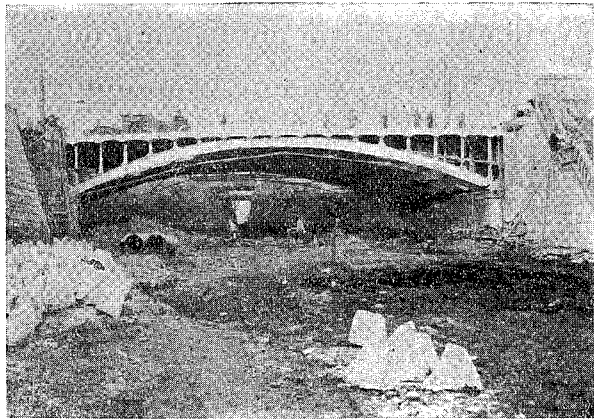
知れない。何れにしても私は其の効果を見ることに興味を持つてゐる。其の通し目地から壞れて來なければいゝがとも思つてゐる。

も一つ面白い話を聞ゐた。此處の高低交叉の上の方の道路は放射線の方で之れに鋼拱橋を架けたのである。美しい銀色に塗つてある。此の橋を架けるには、其の下の土を橋架にして、出來上つてから下を掘つたのであるが、此の通り初めに於て、『何を一番先に通さうかと考へたんです。別に開通式めいたものはないにしても、自分達が苦心して架設したものの渡り初めには、ちよいと緊張した様な氣のするものです。それで

地元の乗合自動車を通してやらうといふことにして、會社へ一臺に國旗をつけて來れば夫れに一番渡りをさせるとい

つてやつたんです。處が時間通り國旗をつけて來ました。早速交通止めの繩をはずしてやつたんです。此の時には自然涙が眼頭に浮いて來ました。處が後からも後からも其の會社の車全部が國旗をつけて來て渡つて呉れました。乗合自動車にしても架設中狭い假道で随分難儀してゐたのでせうから嬉れしいに違ひありません』と話して呉れた。

もう一つ。昭和七年十月一日は東京市域擴張の日だ。之れ等の環狀線も東京市に入る日だ。これを紀念して東京朝日新聞では環狀線全線のマラソン競争をした。東京日日新聞では環狀線の名前を募集した『私達が懸命になつて造つた道路でせう。早速箱番全部集まつて其の名前を協議しましたよ。そして之れなら當選するだらうと思はれる名前を七通り書いて應募したんですが



目高白低交又所の橋梁

ね。決定した名前は明治通といふのでした。應募した分には此の名前はなかつたんです。賞金百圓を楽しみにしてゐましたが駄目になりました』

### 奇 偶

岩手縣の黒澤尻町と秋田縣の横手町とを連絡してゐる省線横黒線は、東北に於て奥羽本線と東北本線とを横に繋ぐ唯一のものである。沿線には温泉もあり又紅葉の美しい處もあるのだがお客は割に少ない。汽車の箱も所謂マツチ箱といはれる型のものも運轉してゐる。そんな時は冬でもスチームが入つてゐないで通路の處に鍼力製の行火が一つ轉がしてあ

るだけだ。夫れでも無いよりは温い様な氣がする。私は一昨年の六月頃牧野雅樂之丞氏と此の線を黒澤尻の

方から入つたことがある。箱の中には二人限りだつた。新聞も読んでしまへば、毎日一緒に歩いて居てさう話がある譯でもない。二人共黙まつた儘でゆられながら汽車が横手に着くのを待つて居るばかりだつた。

次第に汽車は横手に近づいて来る。横手の町を汽車は避けるかの如く、外側を廻つて驛に入る。夫れから吾々は奥羽本線に乗り換へて秋田に向つた。此の頃牧野さんはさも思ひ出に耐へられない様な風に次の様な話を聞かして下さつた。

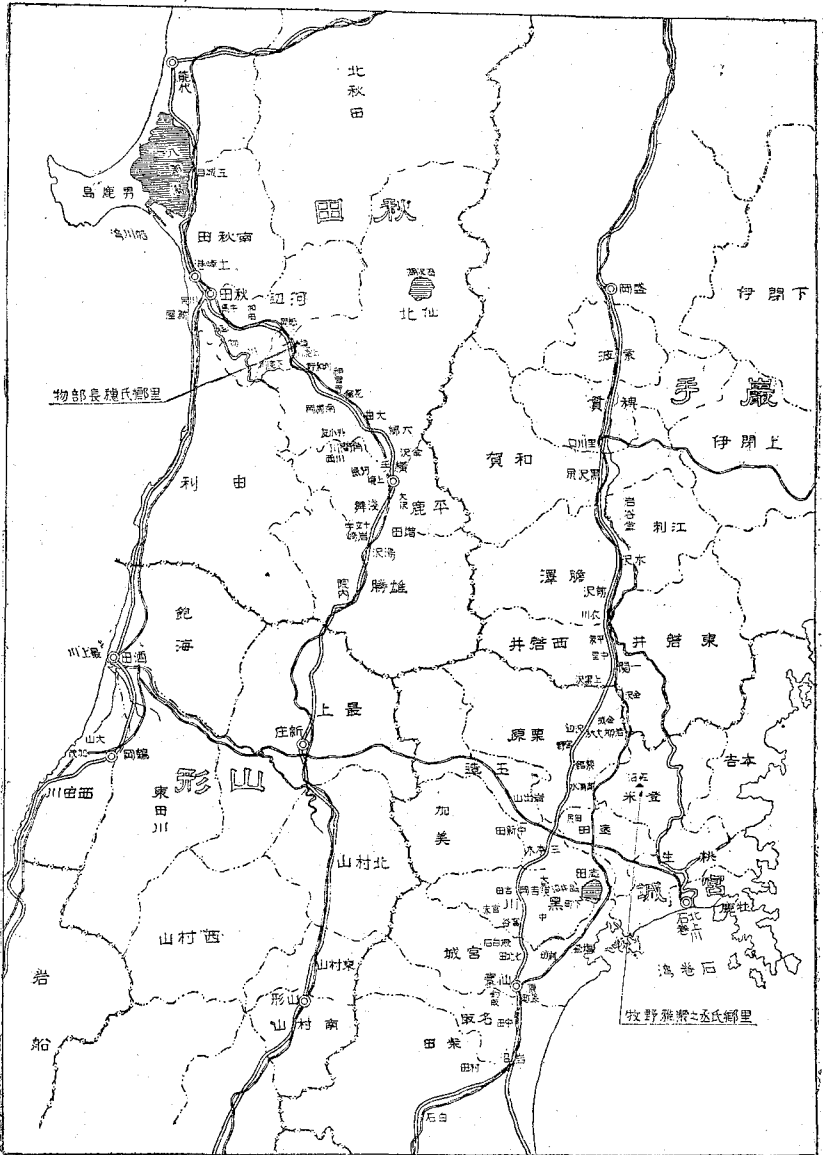
『戊辰の役の時だよ。東北の諸藩は幕府方に附かうか夫れとも勤王方に附かうか随分迷つたものだ。各藩は各々他藩に人を派して其の協議をしたものだ。仙臺藩では三十人近くの人が佐竹藩(秋田)に行つて毎日の様に天下の状勢を觀望しながら協議して居たもの

だ。さうして其の協議の結果幕府方に味方しやうといふことに決定して仙臺藩の使節達は宿に引きあげた。處が其の引きあげた後に急に佐竹藩は勤王方に味方することになつて、宿へ引きあげた仙臺藩の使節を襲ふて全部を惨殺して



小鋪石の直線目地

しまつた。此の事を聞ゐて仙臺藩は全く憤激して、仇を討てといふので軍勢を擧げて佐竹藩を征めに行つたのである。横手の町を焼き拂ひ勢を得て北上した大曲を經、神宮寺、刈野、境へ行つて佐竹藩と戦つたのである。今日でも此の邊の國道の並木には彈丸が入つてゐて切つても買手もないといはれてゐる。此の戦ひに私の祖父が入つて居た。私は祖父から子供の時分よく其の話を聞ゐた。横手町の人は其の後永く仙臺の者をうらんでゐるといはれて居る。又祖父が或る



夜寝てゐると敵の間者が忍んで来て槍で祖父を突きさしたのださうだ。其の時は祖父は身をかわす暇がなかつたので其の槍の穂先を手で握つて避けたといふ、其の後もずつと掌に其の槍傷があつたよ。

丁度其の頃佐竹藩へは日本海の方から官軍の援兵が來たの境あたりからは進むことが出來ないので退却した。此處から仙臺迄は相當遠い。栗駒の山脈を越して、身がらだけになつて歸つたさうだ」と。

牧野さんは其の時秋田に行つてから、秋田土崎間の國道の路傍にある仙臺藩士使節の殉難碑に默禱せられた。

今年の一月になつてから私は參謀本部五萬分一帝國圖を廣げて國道と鐵道との交叉を調らべて居た。氣が附いて見ると土木試驗所所長の物部長穂氏が私のうしろに立つて居られて『君何を調べて居るんだね。其處は僕の村だよ。僕の家は此の邊だよ』と丁度廣げてあつた地圖の境の處を指さされた。其の廣げてあつたのが五萬分一地形圖の『刈和野』だつた。さうして物部博士は其の邊のお話をして下さ

つた。

『僕の村はね、秋田のある平野と、大曲のある平野との境になつてゐる山の中の要害の地なので秋田側に附いたり、大曲側に附いたりしてゐたので何度も戦ひばかりしてゐた處だ。其の様に要害の地だつたものだから僕の家も千年から續いてゐる。又附近には館の趾も澤山にあるよ。矢の根石なども随分落ちてゐる。一度秋田の方に反抗して負けて男は全部殺され女は尼になるといふことになつたが、實際は、男が坊主になることになつて許されたので、暫くは男は全部坊主だつた事もあるよ。其の後佐竹侯が秋田に封ぜられてからは僕の村も其の領分になつてしまつたんだが、夫れでも佐竹侯が參觀交替で僕の村を通る時には、道路に壘を造つたり、或は切り込んだりして其の行列の邪魔をしたさうだ。戦争と云へば戌辰の役の時にも仙臺藩が攻め込んで來たんだよ。此の邊でひどい戦もあつて附近の國道の並木など澤山に彈が打ち込まれてゐて僕等の子供の時分夫れをとつて遊んだものだ。仙臺藩は丁度僕の村まで攻めて



來て其處から引き返へしたんだが、丁度僕の家が其の陳營になつてゐたんだ。古い家だから刀やなんか色々あつたんだが、仙臺藩の退却の時にいゝ刀だの其の他目ぼしいものはすつかり持つて行つてあとは焼いて行つてしまつた。

夫れで今でも焼けた刀などが澤山あるよ。永い間屢々戦があつたので僕の家も何度も焼けたといふことだ。そして家の場所も何度も移つてゐる。今はねえ此處だ』と。

私は先の牧野さんのお話を思ひ出して、ほんとうに面白い世の中だと思つた。

お二人ともそんな關係があることを御存んじか知ら。

### 稻荷様の移轉

仙臺土木出張所の山口技師のお話である。

『丁度其處の處にお稻荷様がありましたね。夫れを移轉して貰はなければならなくなりました。お社は小さいものだったので貴は移轉する處へ土臺を造つて夫れへ持つて行けば良んです。其のお稻荷様の番をしてゐる生きた狐が其の祠

のうしろの岩穴に住んでゐたんですよ。夫れで祠を移すばかりでなく、其の狐の住む穴も新しく拵へてやらなければならなかつたんです。拵へてやりましたよ。

そして其の祠を移す日が來て祠を移しました。さうしたら其の狐もちゃんと移轉して呉れましたよ。狐が移越したことは判りますとも。こちらの穴から新しい穴へすつと砂を敷いてやつたんです。ちゃんと足跡が其の砂道の上についてゐたんですからねえ』

### 降雪期の瀝青乳劑鋪裝

札幌停車場の廣場に乳劑鋪裝をした時の話を聞かされた。之れを請負たのは東京の或會社である。東京に居ては札幌に何時頃から雪が降るものか見當が着かなかつたために、請負てから暫く工事にかゝらないで居た。そして十二月に入つてから初めたのだといふ。

處が大變な寒さで、乳劑を撒布しても水分が蒸發しないのでどうしても固まらなくなつてしまつた。初めは乳劑が

悪いのぢやないかと考へ、又固まらないとなつては舗装にも何にもならないので相當あはて初めた。其處へ雪が降り出したのである。敷き均らした碎石面に筵を何枚も掛け置いて、翌朝になると、北海道の少しも水分のないあの粉雪だ。すつかり碎石の仲にまで入つてしまつてゐたといふ。仕方がないから次の日は夫れをすつかり掻き起してお湯で洗つて、再び敷くといふ仕末になり、乳劑もあつたためて普通の二倍もの量を撒布し、養生にも砂を撒いたりして僅かばかりの面積を一月もかゝつて、然も苦心に苦心してやつと仕上げたと聞ゐた。

來年に延ばす譯に行かなかつたのかと聞いたら、本年度の工事だから豫算の關係上延ばす譯に行かなかつたのだといふ。初め會社で少し時期を失したこともあるのだから仕方がないのであらう。此の舗装の補償期間は一年だといふ。私は此の舗装が雪が消えてからも立派になつてゐるかどうか是非知りたいものだと思つてゐる。敢えてそんなに雪の降る時に施工しやうと云ふのでないが、其の施工の苦心

に對しても、夫れが完全に出來てゐることを望んでやまなう。

其の時に聞ゐた話だが、吾が國では、どうしてターを舗装に用ゐないんでせうね。方々の瓦斯會社には、未だターの處分に困まつてゐる處もあるんですよ。精製ターにしてアスファルトと同じ様なものにしやうとすれば、高くつくが、夫れ程にしなくても使へるんぢやないですかねといはれた。

私はターに於ての智識が全くない。もう少し夫れを研究しなければならぬと思つてゐるが、私の他にも、ターに就て知らないといふだけで、又一般に人が使はないからといふ意味でターを使用しないとするとすれば、若し之れが効果のあるものだつたら不經濟な話だ。誰れか知つて居られる方は教へて頂きたい。

## 交通事故

東京の市内を歩いてゐると何時でも感ずることだが、實

際夥しい交通量だ。自動車にしても電車にしても洪水の時の水勢を見る様だ。道路は、街路は交通物の通る處だとは思つてゐても實際大したものだ。とても甲地より乙地に達する路線などといふ感じは起らない。何か排け口を見出しで逃げ出さずには居られないといふ時の様な勢だ。

私は東京に住んで居るとはいへ自分の家から役所への往復する位で殆んど出歩いたことは無いのだが、夫れでも交通事故を目撃した事は數へ切れない位だ。自動車が人家のなかへ入り込んだり、澤山の荷物を積んだ自動車が横倒しになつたり、電車に觸れた自動車或は上り下りの電車の間狭まれた自動車、自動車同志の衝突、自動車の引かれた自轉車、其の事故の種類も擧げ切れない。

然し何か東京の人は割合に夫れ等の事故には無關心だ。自分に關係しないうちは關まつてゐられるものかといふ風だ。暇な様な數人が立ち止まつて見てゐるばかりで總て忙しさに自分の仕事だけを考へてゐる様に通る過ぎる。實の處私にしても自動車の事故があつたからとて一々電車が

ら降りる譯にも行かないので、又やつてゐるなと思ばかりであとは忘れてしまつてゐる。

唯一度駿河臺の明治大學の正門の前で、其處の學生が門を入らうと車道を横切つてゐる時、一臺の自動車が觸れてよろけた處をも一つの後から來た自動車がよろけた其の學生を引ひて倒した。其の學生は人事不省になつて倒れ、然も電車敷には夥しい血が流れてゐた。折りから通りかゝつた學生が、四五人で抱へて病院へ連れて行く處を見た時には、實際恐ろしいと思つた。

こんな話も聞ゐたことがある。夫れは私の近所の人なのだが、電車から降りる時倒れて其の電車の車で右の腕を引かれた。夫れでぶら下つてゐる右腕を左手でつかまへて病院へ行つたんだが骨がくだけてゐるので結局切つてしまつたといふ。其の人はために失業してしまつたと聞ゐた。恐ろしい事だ。

電車といへば、此の頃は東京の軌道敷もだいぶ立派になつた。軌條を大きなものにしたのと、敷石も裏表とも仕上

けたまきちんとしたものを敷く様になり、又軌道の基礎工も其の施工が合理的になつて来たからであらう。實際一時は軌道敷の敷石は、ばらばらにほぐれて居て全く専用軌道の様になつてゐたものだ。

軌道敷で思ひ出したが、確か三四年位前だつたらうと思ふが、或る市に魚屋さんがあつた。其の人は請願好の人で何かとよく請願を出してゐたさうだ。其の人が其の家の前を通つてゐる軌道敷がよくない。軌道敷の修繕を會社に命じて呉れといふ請願を、縣當局に何度も提出してゐたさうだ。府縣當局は會社で軌道敷の維持が悪いと思へば其の修理を命ずることは出来る。だが一般の人は請願に依つて軌道敷の修繕をせしめるといふことは出来ない。

さうしてゐるうちに其の電車が脱線して、處もあらうに其の魚屋さんの家に飛び込んで其處を滅茶々にしたさうだ。私は其の事を聞いた時に電車に意志があるものだらうかとおかしく思つた。

其の時監督官廳からも實地調査に行かれた様に聞ひてゐ

るが、其の後どう結末がついたものか知らない。

## 反古籠

一  
新年號の某雜誌に地方鐵道及軌道の更生に付てとの某高官の一文が掲載されておる。軌條の質を改善する主旨かと思ひ一讀すれば何ぞ知らん地方鐵道事業及軌道事業の更生策を述へておる。こゝせい恐るべきである。

## 二

來三月行はるる東京市會議員の選舉について東京市政調査會では市會議員選舉八則として先年發表した標語をまた／＼公表して居るが其一に「選出せよ裏も表も正しい人を」とあるが人間の裏と表とを透視する眼鏡はどここの店舗に賣つておるか、とかく他人を正しく認識し得られない處に人間社會萬般の惱と矛盾とがある、不幸東京市會議員選舉有權者には洋服の裏表ですら正しく視る目が欠ておる。人間の表裏を透視し得る眼鏡の新發明なければ標語は剽語に終らん穴贅